

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-43	実施事業	がん検診事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	検診対象年齢に達した市民
意図	がん等の早期発見・治療のため。
効果	がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がんリスク検診(40歳以上)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診検診:20歳~38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)の検診を実施した。 ・がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	412,045	310,806	当初予算(千円)	412,262		
	国県支出金	2,098	624	国県支出金	636		
	地方債	0	0	地方債	0		
	その他	0	0	その他	0		
	一般財源	409,947	310,182	一般財源	411,626		
	人員配置数	2.6	3.6	人員配置数	4.3		
事業経費運営	人件費(千円)	20,964	27,934	人件費(千円)	33,427		
	総事業費(千円)	433,009	338,740	総事業費(千円)	445,689		
	市民1人当りの経費(円)	2,443	1915	市民1人当りの経費(円)	2,526		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	前立腺がんの罹患率は、2015年には男性のがんの中で第1位(推定)となり、前立腺がん検診は、県内でも33市町村中24市町村が既に導入されている。鎌倉市においても、平成29年度から実施する。
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成29年度から、前立腺がん検診の実施にあたり予算規模を拡大する。			

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成29年度から、前立腺がん検診を導入する。そのため、予算規模が拡大するが、がんの早期発見・早期治療に繋げるため、必要な経費と考える。また、次年度以降もがん検診のあり方について検討し、必要な各種がん検診の実施及び受診率向上のために周知を図っていく。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	受診しやすい環境を整えるため、検診期間を1か月拡大したが、引き続き、各種検診のあり方等について、見直しを行っていく必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	検診期間を1か月拡大した平成27年度は、胃がんリスク検診の開始も重なり、全体的に受診率が高くなった。しかし、平成28年度は、全体的に受診率が下がっているため、今後も受診率への影響を分析する必要がある。 平成29年度から、50歳以上の男性を対象に前立腺がん検診を導入する。導入するにあたり、鎌倉市医師会と協議・検討した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	受診率向上のため、引き続き、鎌倉市医師会と、受診しやすい環境を整えるための協議、検討を行っていく必要がある。また、平成29年度新たに導入する前立腺がん検診の受診状況等を確認しつつ、今後のあり方を検討していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	胃がんリスク検診実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市				
他市実績	○	○	×	○	○				
	平成27年度～	平成26年度～	バリウム・内視鏡	平成27年度～	平成24年度～				

比較事項	前立腺がん検診実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市				
他市実績	○	○	×	○	○				
	平成29年度～	平成22年度～		平成13年度～	平成13年度～				

比較事項	がん検診の種類								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市				
他市実績	6種類	6種類	5種類	6種類	6種類				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	胃がんリスク検診、前立腺がん検診ともに、厚生労働省が定める国の指針にない検診だが、近隣市町村も実施している。鎌倉市においても、がんの早期発見・早期治療につなげるため、今後も実施していく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	胃がん検診受診率	単位	%	指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値は、国が目標としている受診率
平成27年度からリスク検診を実施を実施。受診者の推移を把握し、リスク検診導入の効果を確認するため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
	実績値	8.6	32.3	13.5				
	達成率	17.2%	64.6%	27.0%				

指標の内容	乳がんマンモグラフィ検診受診率	単位		指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値は、国が目標としている受診率
女性がんのうち、がん発見数が多い乳がん検診の受診率向上に努めるため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
	実績値	25.1	24.9	25.7				
	達成率	50.2%	49.8%	51.4%				

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	胃がん検診は、平成26年度までX線(バリウム)検査による胃がん検診を実施した。しかし、X線撮影の際に、受診者の身体への負担が大きいため、採血検査によるリスク検診を導入した。平成28年度は、リスク検診を導入した平成27年度の受診率よりも減少したが、X線(バリウム)検査を実施していた平成26年度よりも受診率が高いため、リスク検診を導入した効果だと考えている。 乳がん検診は、平成28年度は前年度よりも受診率が微増しているが、がん発見数が多いため、今後も受診率向上に努めていく必要がある。
-----------------------	---